

### 公務員コース履修系統図

		1年次		2年次		3年次		4年次		
モデル	目標	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター	
共通教育科目	全モデル共通 幅広い教養及び国際感覚を修得することができる。 日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力を修得することができる。	情報リテラシーA キャリア開発A 数的処理 I A 日本国憲法	情報リテラシーB キャリア開発B 数的処理 I B 文章表現入門	判断推理(論理) 判断推理(図形) ＜行政職モデル＞ 人権の諸問題 資源エネルギーと環境 自然災害と防災 経済学		＜行政職・教職モデル＞ 数的推理(数の性質) 数的推理(確率と図形) 資料解釈				
		一般外国語コース(視聴覚英語、英語表現、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、ロシア語) 英語圏留学コース(適宜3年次も)		＜警察官/消防官モデル＞ フィットネス実習A		フィットネス実習B	トレーニング演習A	トレーニング演習B		
		＜教職モデル＞ (教職課程科目) 日本史、東洋史、西洋史、地理学、社会学、教育学、学校ボランティア、人権の諸問題、現代社会と人権、現代社会と教育 日本史概論AB 外国史AB 人文地理学AB 自然地理学AB 地誌AB 哲学概論AB 倫理学概論AB								
		基礎演習A	基礎演習B							
演習	基礎演習では、大学生活に必要な知識と技能、専門学修に必要な基礎学力を修得することができる。									
専門教育科目	演習			演習 I A	演習 I B	演習 II A	演習 II B	演習 III A	演習 III B	
				a・b・c[公務員特別演習 I A]	a・b・c[公務員特別演習 I B]	a・b・c[公務員特別演習 II A]	a・b・c[公務員特別演習 II B]	a・b・c[公務員特別演習 III A]	a・b・c[公務員特別演習 III B]	
	a行政職	法と政治に関する基本的専門的知識を体系的に理解する。 当事者間で発生する諸課題を理解し、法的知識・技能をもとにして、多様な価値観や利害関係に適した解決策を考える力を修得する。	法学の基礎 世界の政治 戦後法制史 憲法概論	憲法学 I a・c[民法総則 I] a・b・c[刑法総論(概論)] 日本の政治 経済学入門	憲法学 II 公務員のための行政法 行政法総論 I・II 不動産と法規制 不動産登記法 債権各論 I 民法総則 I・II 物権法 I 債権総論 I 家族法 I 行政学 I・II 会社法概論 労働基準法 政治過程論 I・II 国際政治学 I・II 情報と法	行政救済法 I 自治体法務 地域政策 刑事政策 民法総則 I 民事裁判と法 地域生活と法 環境の法と政策 NPO・NGO論 社会保険法	行政救済法 II 民法総則 II 21世紀日本の議会と行政 物権法 II 環境訴訟論 雇用政策法 債権総論 II 社会福祉法 政策法務論 債権各論 II 家族法 II			
	b警察官	グローバル化する現代社会の一員として、他社と協調・協働できる能力を修得する。 ＜入門科目＞法学の基礎、日本の政治、世界の政治などの入門科目の学修を通じ、基礎的知識の修得と、法学・政治学を中心とする分野の諸問題への関心を高める。 ＜学部基本科目＞憲法・民法・刑法を概観する科目を履修し、専門学修を進めていく上での基本的な知識や技能、論理的思考方法を修得する。		公務員のための刑事法 I・II 警察学入門 刑法各論(概論) 刑法 I 公務員のための憲法 債権各論 I 債権総論 I 物権法 I 家族法 I 政治過程論 I・II 国際政治学 I・II 情報と法 犯罪心理学 I・II	刑事政策 刑事裁判と法 21世紀日本の議会と行政 刑法 II	刑事手続法 少年犯罪と法 警察法令概論 21世紀諸外国の議会と行政				
	c消防官		公務員のための行政法 行政法総論 I 刑法各論(概論) 公務員のための憲法 物権法 I 債権各論 I 債権総論 I 家族法 I 労働基準法 政治過程論 I・II 国際政治学 I・II 情報と法	地域政策 刑事政策 行政救済法 I 地域生活と法 環境の法と政策 NPO・NGO論 社会保険法 21世紀日本の議会と行政	環境訴訟論 雇用政策法 社会福祉法 21世紀諸外国の議会と行政					
	d教職		国際政治学 I・II 政治過程論 I・II 日本法史 I・II 法思想史概論 行政法総論 I・II 情報と法	教育法 労働基準法 自治体法務 行政学 I・II 社会保険法 政治学原論 日本政治史 I 政治制度論 I 国際関係史 I	憲法学 II 憲法学 III 社会福祉法 少年犯罪と法 日本政治史 II 政治制度論 II 国際関係史 II	政治思想史 I	政治思想史 II 西洋政治史 I・II			
	e国際公共		憲法学 II 行政学 I・II 国際法概論 国際政治学 I・II 政治過程論 I・II 国際関係史 I・II 21世紀諸外国の議会と行政 情報と法 海外フィールドスタディ	政治学原論 国際法各論 I 政治制度論 I 政治思想史 I アメリカ政治論 中国政治論	国際法各論 II 国際機構法 政治制度論 II 比較政治学 I・II 西洋政治史 I・II 政治思想史 II					
Sコース		a・b・c・d[公務員基礎講座] a[宅建講座スタート、行政書士講座スタート]	a[公務員養成講座、宅建講座、行政書士講座] b・c・d[公務員養成講座]	a[国家一般・国家専門・地方上級講座、宅建講座、行政書士講座] b・c[教養試験対策講座]		a・b・c[公務員直前合宿]				
資格		全モデル[法学検定]	a[宅地建物取引士試験] ＜国際・公共＞TOEIC講座、国家一般・地方上級講座	a[宅地建物取引士試験、行政書士試験、自治体法務検定] b[柔道・剣道で初段以上習得]	c[乙種危険物取扱者第4類]					
学修目標		・法学・政治学・行政学分野の幅広い基礎的知識を修得する。 ・読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる、グループワーク力、プレゼンテーション力といった基本的な汎用性を身につけるトレーニングを行う。 ・外国語力を伸ばす。 ・興味・関心に応じて、人文・社会・自然等の教養分野の知識を広げる。 ・キャリアに関する意識を持つ。 ・興味・関心・将来の進路志向に適したコース、演習を選択するために、コース、演習内容について理解する。	・法学・政治学・行政学の専門的知識を拡充させる。 ・実践的・能動的な取り組みを通して、基本的な汎用性のさらなる向上に努める。さらに、課題を発見する能力を向上させる。 ・キャリアに関する意識を高める。	・法学・政治学・行政学の専門的知識を深め、体系的に理解する。 ・実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決策を考える能力を向上させる。 ・キャリアに関する意識を具体化し、行動する。 ・インターンシップに取り組む。	・地域、行政、警察行政、消防防災の課題解決手法について理解を深め、法学部研究発表大会でその検討結果について発表を行う。 ・柔道・剣道で初段以上を獲得する。＜警察官モデル＞	・法学・政治学・行政学の専門的知識を発展させるとともに、他者と協調・協働して課題解決策を考える能力を修得する。 ・社会人としての心得を修得する。 ・進路に関連する専門知識を拡充する。 ・卒業論文にかえて、法学部顕彰論文を書き上げる。 ・志望する公務員試験に合格する知識と能力を修得する。 ・目標とする進路を実現する。				

法学部履修細則  
(2021年度入学生)

法学部履修細則  
(2021年度入学生)